

「教室」では、トークを楽しみながら、禁煙を考えた



細木病院

禁煙チャレンジ教室 楽しくやめるには...

細木病院は8月2日、タバコをやめたい人を対象にした、「禁煙チャレンジ教室」を当院の講堂で開いた。教室には、禁煙外来に通っている方ら約20人が参加し、北川隆夫内科部長の指導を受けた。

この日のスタッフ(7人)は、全員が白のTシャツで登場し、気軽なムードを演出。まずは北川部長が、職員の間で禁煙体験を告白。「何回も禁煙して、完全に止めるまでは

2年ぐらいかかり、大変だった」と述べた。続いて、北川部長がタバコの有害性、病気の関連などについて講演。その後、職員が「酒の席でのタバコの断り方」を寸劇で披露。愉快なトークを繰り広げた。

続いて、北川部長が「楽しい禁煙の仕方」と題して講演。マ禁煙を続けるコツ「ニコチンパッチとガムの効用」などについて説明。最後に、「今日の催しが、何かやってみよう」というきっかけになれば嬉しい「これからの人生を前向きに考えて欲しい」と述べ、参加者を励ました。

煙害ストップ！ 分煙進める

細木病院

細木病院はこのほど、健康増進法が施行(5月)されたことに伴い、院内の所定の場所以外は全面禁煙とした。

同法では、タバコを吸わない人が、喫煙者のタバコの煙

を吸わされる(受動喫煙)ことの防止がうたわれており、病院など多くの人が集まる場所では受動喫煙の防止に努めなくてはならない、とされている。

同法の趣旨にしたがい、当院では患者さん、見舞い客用には本館1階と新館3階などに、職員には新館出入口の横に喫煙コーナーを設けた。

細木病院

ユニティ病院

「よさこい祭り」参加 元気をアピール



ダイナミックな踊りを披露する細木病院の踊り子隊(当院新館前)



患者さんからも拍手をもらった(ユニティ病院)



男性は力強く(当院新館前)

高知の真夏の祭典「よさこい祭り」が、8月9日から12日まで、高知市内で華々しく繰り広げられたが、細木病院

チームは今年も参加(3回目)が、エナメルギッシュな踊りを披露し、病院をアピールした。今年50回目を記念年。史

上最多の187チーム、約2万人が参加した。わがチームは、細木病院の職員・家族のほか、細木ユニティ病院、土佐看護

踊り本番スタートの8月10日には、細木病院の新館前に、白い上着にブルーのスボン、頭には赤いターバンを巻き、さつそうと登場。テンポのよい音楽に合わせて、ダイナミッ

クな踊りを披露し、患者さんらから大きな拍手をもらった。南館で踊った後、上町、升形の競演場を経て、メインの追手筋の本部競演場に登場。ここでは審査があり特に気合を入れて踊り、観客にアピール、テレビ中継もされた。

3回目出場 で底力示す

11日は細木病院と細木ユニティ病院で踊り、田中整形外科病院、清生園病院を経て菜園場の競演場などでも元気なところをアピールした。

個人賞としてたくさんメダルを獲得し、3年連続出場

で優勝旗も授与された。リーダーの一人は、「3回目の出場

で、スタッフにも底力が出てきた」と感想を述べながら、「次はロック調の音楽で、ハインポでやりたい」と、早くも来年への意気込みをみせていた。